

授 業 科 目		単 位			開講期		担 任 教 員						備 考		
		講義	演習	実験	前	後									
A 類	電力システム工学特論	2			○		講師	博(工)	佐々木	三	郎	複数担当科目			
	制御工学特論	2			○		教授	工博	新	中	新		二		
	電気電子材料工学特論	2			○		教授 教授	工博 工博	平 渡	手 邊	孝 良		士 男	複数担当科目	
	電子デバイス工学特論	2			○		教授 教授	博(工) 工博	山 中	口 山	栄 明	雄 芳	複数担当科目		
	回路学特論	2			○		教授 准教授	工博 博(工)	島 土	屋 健	健 伸	複数担当科目			
	波動電子工学特論	2			○		教授 教授	博(工) 工博	穴 遠	田 藤	哲 信			夫 行	複数担当科目
	通信工学特論	2			○		教授 教授	博(工) 工博	豊 齊	嶋 藤	久 隆		道 弘	複数担当科目	
	情報工学特論	2			○		教授	工博	木	下	宏	揚	複数担当科目		
	システム工学特論	2			○		教授 教授	博(工) 博(工)	松 能	澤 登	和 正	光 人			複数担当科目
	エネルギーシステム工学特論	2				○	講師	工博	大	野	吉	弘		複数担当科目	
	電力系統過渡解析論	2				○	講師	博(工)	佐々木	三	郎	複数担当科目			
	制御工学特論	2				○	教授	工博	新	中	新		二		
	パワーエレクトロニクス	2				○	教授	工博	渡	邊	良		男		
	半導体工学特論	2				○	教授	工博	平	手	孝		士		
	量子エレクトロニクス	2				○	教授	工博	中	山	明		芳		
	物性工学特論	2				○	教授	博(工)	山	口	栄		雄		
	電子回路特論	2				○	教授	工博	島				健		
	電磁界理論の応用	2				○	教授	博(工)	穴	田	哲		夫		
	超音波エレクトロニクス	2				○	教授 准教授	工博 博(工)	遠 土	藤 屋	信 健		行 伸		
	信号・画像解析特論	2													休講
	デジタルシステム設計論	2				○	教授	博(工)	豊	嶋	久		道		
	情報セキュリティ特論	2				○	教授	工博	木	下	宏		揚		
	言語処理工学特論	2				○	教授	博(工)	松	澤	和		光		
	知能情報システム特論	2				○	教授	博(工)	能	登	正		人		
B 類	電気工学輪講		1		○	○	{	教授	博(工)	穴	田	哲	夫		
	電気工学輪講		1			○		教授	工博	遠	藤	信	行		
	電気工学輪講		1		○			教授	工博	木	下	宏	揚		
	電気工学輪講		1			○		教授	工博	齊	藤	隆	弘		
	電気工学特別実験			1	○			教授	工博	島			健		
	電気工学特別実験			1		○		教授	工博	新	中	新	二		
	電気工学特別実験			1	○			教授	博(工)	豊	嶋	久	道		
	電気工学特別実験			1		○		教授	工博	中	山	明	芳		
								教授	博(工)	能	登	正	人		
								教授	工博	平	手	孝	士		
								教授	博(工)	松	澤	和	光		
								教授	博(工)	山	口	栄	雄		
								教授	工博	渡	邊	良	男		
								准教授	博(工)	土	屋	健	伸		

授 業 科 目	単 位			開講期		担 任 教 員	備 考
	講義	演習	実験	前	後		
C 類	応用数学	2			○	講師 理博 酒 井 克 郎	
	応用数学	2			○	講師 理博 酒 井 克 郎	
	応用物理	2			○	講師 白 井 達 也	
	応用物理	2			○	教授 理博 田 村 忠 久	
	実践科学技術英語	1			○	講師 田 沼 智	
	実践科学技術英語	1			○	講師 南 田 孝 子	
	学外研修 A		2	○		教授 工博 島 健	
	学外研修 B		2	○		教授 工博 島 健	
D 類	他研究科および 工学研究科他専攻の科目						

印は選択必修科目。

「実践科学技術英語」「実践科学技術英語」は、2013年度以降の入学者に適用。

指導教授

学生は所属する専攻の科目のうちから演習の指導を受ける1科目(自己の最も専門に研究しようとする科目)を選び、研究科委員長の承認を得て、その科目担当の教授によって研究全般の指導を受けること。

この科目をその学生の専修科目と称し、担任教授を指導教授という。

履修方法

1. 指導教授の指導によって、30単位以上を履修すること。その内訳は次のとおりとする。

(1) A類から22単位以上(修業年限の短縮が認められた者については、26単位以上)。ただし「電力システム工学特論」「制御工学特論」「電気電子材料工学特論」「電子デバイス工学特論」「回路学特論」「波動電子工学特論」「通信工学特論」「情報工学特論」「システム工学特論」のうち8単位以上を含める。

(2) B類から8単位(修業年限の短縮が認められた者については、4単位)。

(3) C類およびD類の取得単位は8単位までA類に換算することができる。

(4) また、他大学大学院(神奈川県内の大学院間の単位互換協定校)の授業科目を10単位まで履修することができる。修得した単位は、C類およびD類と合わせて8単位まで、A類に換算することができる。

(5) A類中自己が最も専門に研究しようとする科目の講義は必修とする。なお、B類のその科目に関する輪講、特別実験は必修として履修するものである。

2. 「学外研修A」「学外研修B」の履修については、担当教員に確認すること。

3. 長期履修制度に関する所定の手続に従い申請等を行うことにより、修業年限を3年または4年とすることができる。

4. 単位は、1年次修了までに(長期履修が認められた者については、修了前年度までに)20単位以上を修得すること。

5. 本研究科の指定する方法で、修士論文の中間発表を行わなければならない。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年次以上(修業年限の短縮が認められた者については、1年次以上)在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程第2年次以上(修業年限の短縮が認められた者については、1年次以上)に在学し、所定の授業科目について20単位以上を修得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

授 業 科 目	単 位		開講期		担 任 教 員					備 考
	講義	演習	前	後						
エネルギー・制御工学特殊研究	2	2	○		教授	工博	渡 邊	良 男		
	2	2	○		教授	工博	新 中	新 二		
エネルギー・制御工学特殊研究	2	2		○	教授	工博	渡 邊	良 男		
	2	2		○	教授	工博	新 中	新 二		
材料・デバイス工学特殊研究	2	2	○		教授	工博	中 山	明 芳		
	2	2	○		教授	博(工)	山 口	栄 雄		
	2		○		教授	工博	平 手	孝 士		
	2	2	○		教授	工博	島	健		
材料・デバイス工学特殊研究	2	2		○	教授	工博	中 山	明 芳		
	2	2		○	教授	博(工)	山 口	栄 雄		
	2			○	教授	工博	平 手	孝 士		
	2	2		○	教授	工博	島	健		
波動電子工学特殊研究	2	2	○		教授	工博	遠 藤	信 行		
	2	2	○		教授	博(工)	穴 田	哲 夫		
波動電子工学特殊研究	2	2		○	教授	工博	遠 藤	信 行		
	2	2		○	教授	博(工)	穴 田	哲 夫		
通信・情報工学特殊研究	2	2	○		教授	工博	齊 藤	隆 弘		
	2	2	○		教授	工博	木 下	宏 揚		
	2		○		教授	博(工)	豊 嶋	久 道		
	2		○		教授	博(工)	能 登	正 人		
通信・情報工学特殊研究	2	2		○	教授	工博	齊 藤	隆 弘		
	2	2		○	教授	工博	木 下	宏 揚		
	2			○	教授	博(工)	豊 嶋	久 道		
	2			○	教授	博(工)	能 登	正 人		

履修方法

1. 学生は自己の最も専門に研究しようとする科目を選び、その演習を担当する教授から研究全般の指導を受けるものとする。
2. この科目をその学生の専修科目と称し、担任教授を指導教授という。
3. 学生は指導教授による演習を12単位、その他指導教授により専修科目または他の科目から8単位以上履修すること。

修了要件

1. 博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 博士論文の審査を申請し得る者は、博士後期課程において、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。